

この博物館にはいろいろなものがやってくる。  
大切にとっておいたもの。偶然残されたもの。  
誰かが亡くなった時、家の整理をする時に  
捨てられる寸前だったものも。  
その中には戦争にまつわる資料もある。

今まで手付かずだったその資料の箱を一緒に開けることから始めてみた。  
ドキドキしながら箱を開けてみると、  
そこには小学生の慰問文や女学生の日記やスクラップブック。  
戦場へ持って行った本、教科書に雑誌、当時の新聞…。  
歴史の教科書やドラマではない。確かにそこに生きていた人がいる。  
実物の力に圧倒される。  
そこからそれぞれが自由研究を始めることになった。

考えてみれば、今を生きるすべての〈私たち〉はみんな戦争体験者の子孫。  
祖父や祖母、曾祖父や曾祖母…彼らがあつた時代を生き抜いたから、  
今〈私たち〉がここにいる。その事実にとつと手を伸ばす。  
「小さな物語」のカケラを集め、探索し、読み直す。  
そうやって、いつのまにか戦争が〈私〉の中に根をおろす。

あなたの「小さな物語」も聞かせてください。

※ この参加型の展示は、会期中どんどん育っていきます。

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」プロジェクト特設サイト  
<https://war-watashi.showanokurashi.com>



### 昭和のくらし博物館のご案内

#### 所在地

〒146-0084  
東京都大田区南久が原2-26-19  
東急池上線「久が原」、または、東急多摩川線  
「下丸子」より徒歩約8分

#### 電話

03-3750-1808

#### 開館日時

全・土・日曜日・祝日 10:00~17:00  
休館日 月~木曜日  
2025年度の臨時休館日 9月5日(金)~7日(日)  
/12月28日(日)~2026年1月4日(日)

#### 入館料(本院のみ)

大人 500円/小学生~高校生 300円  
友の会会員 300円  
NPO会員 招待券あり

<https://www.showanokurashi.com>



2025.08.01  
↓  
2026.03.29

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」

プロジェクト展

昭和のくらし博物館

戦争と「私」をつなぐ物語を探す

戦争と「私」をつなぐ物語を探す



### 触れる〈戦争〉の時間 (月1~2回ほど実施)

やっぱり、実物の力!

当館所蔵の千人針や軍事郵便、当時の新聞や雑誌などを手にとってよく見てほしい。感じてほしい。スタッフと一緒に実物を手にとってじっくり見ていただき、残されたモノとの対話をさせていただく時間を設けます。

#### 参加方法

- 実施日時を公式ウェブサイトのカレンダーで確認して訪れる

### 「戦争と〈私〉」物語のカケラ

私たちひとりひとりが、身近な小さな物語を探索すること、それが戦争と〈私〉をつなぐ糸口になる。あなたが誰かから受け取った「物語」(エピソード)を聞かせてください。人や本、映画、歌や小説、詩や短歌などとの出会いでも構いません。小さな物語が集まり響き合って、どのような風景が見えてくるでしょうか?集まった物語はさまざまな方法で公開します。

#### 参加方法

- 会場に用意されたカードに書く
- war.watashi.showa@gmail.com にメールする

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」プロジェクト

画面越しに戦禍を見続ける日々。理不尽と分断、不気味な熱狂が忍び寄る社会。戦争の気配が濃くなるいっぽうで、過去の戦争の記憶は失われつつある。この80年、多くの人がその記憶を語り、伝えようと努力してきた。しかし、はたして私たちはその記憶とちゃんと向き合い、聞こうとしてきただろうか?どうしたら〈私たち〉は戦争を「自分ごと」にできるのだろうか?今改めて、それぞれが「戦争と〈私〉の物語」を探索し発見すること。単に戦争の記憶を「忘れてはならない歴史」として、隔たった距離からの視点で対象化するのではなく、各々の家族や、生きてきた経験と「戦争」のつながり(例えば古い家族写真をめぐる誰かの語りなど)を自分なりの仕方です手探りしてみること。それが今を考えるための種となり、根を育てるのではないか。かつて戦争を引き起こした「大きな物語」に、私たちが再び飲み込まれてしまわないためにも「〈私〉の小さな物語」に耳を澄ましたいと思う。くらしの視点で歴史を伝えてきた「昭和のくらし博物館」が「戦争と〈私〉」をめぐるエピソードや自由研究を持ち寄り対話する場を開く、参加型のプロジェクトをスタート。試行錯誤しながら共に育てていきたい。

### 「戦争と〈私〉」ブック紹介

この本のここがいい!これが心に響いた。会場にいろんな人の「私が勧める本」を持ち寄りました。部屋に置いてある本は私物ですが、手にとって読んでいただけます。

#### 参加方法

- あなたの感想も付箋紙に書込んで、本に貼る
- 会場の用紙に、オススメ本のタイトルとその理由を書く
- オススメ本を置きたい方は、スタッフに相談

